

長い夏休みが終わりを告げようとしています。今年も暑い日が続きましたね。夏休みといえば外で子供たちが遊びまわっている、夏休み期間中の交通事故に気を付けましょう、なんていうのはずっと昔の話のようです。今は子供はクーラーのある場所で涼しく過ごしましょうなんて、だれが想像したでしょうか。時代、取り巻く環境も変わり私たちは変化しながら地域とともに柔軟に変えていく必要があるのかもしれない。

今月のだよりは“つなぐ人”にヒューチャーしたいと思います。子どもたちが安心して学び、成長していくためには学校だけでなく、地域のたくさんの人の力が欠かせません。そんな“地域と子どもをつなぐ”存在にスポットを当てます。皆さんの思いや活動の背景を知ること、もっと地域が近く、あたたかく感じれるはずです。

▼ 8・16、親児の会主催「ウォーター・スプラッシュ・バトル！」が開かれました。

8月16日、親児の会主催「ウォーター・スプラッシュ・バトル！」が開かれました。35℃を超える灼熱の太陽の下、47人も多くの子どもたちと保護者が集まりました。大きな声で「かかってこい！」と叫びながら走る子、思い切り水を浴びて「冷たくて気持ちいい！」と笑う子。水かけ合戦や水鉄砲を使った東西合戦は大盛り上がりで、西軍が再び勝利しました。びしょ濡れになりながらも、子どもたちの笑顔は太陽より輝いていました。保護者の皆さんも童心に返り、子どもたちと一緒に楽しんでいる姿がとても印象的でした。

親児の会の皆さん、暑さを忘れるほど夢中になれる遊びの場をつくってくださりありがとうございました。地域の大人と子どもが一緒に笑い合える時間こそ、つながりの力だと感じました。



つなぐ人★PTA 会長（渡辺翔子さん）インタビュー



「つながりが、子どもたちの未来を育てる」

今回の「つなぐだより」では、PTA 会長の渡辺さんにお話を伺いました。保護者として、そして地域の一員として、子どもたちの成長を支える活動への想いを語ってくださいました。

PTA 活動に関わるようになったきっかけは？

「最初は、長女が小学校に入った7年前。アミダくじで“書記”に当たったのが始まりでした（笑）。何もわからないまま、同級生の保護者と協力しながら、行事の多かったコロナ前の一年を乗り切りました。忙しかったけれど、楽しくて“やってよかった”と思える経験でした。」

その後、数年間はPTA 役員に関わることはなかったそうですが、今回会長として再び活動に参加。地域とのつながりを大切にしながら、子どもたちのために尽力されています。

地域との関わりで印象に残っていることは？

「会長になってから、地域の方々との関わりがぐっと増えました。祖父江小学校は、地域とのつながりがとても強いんです。自分の子どもだけでなく、他の子どもたちともふれあう機会が増え、先生方や保護者の皆さんとの関係も深まりました。」特に「プラスワン」の活動では、読み聞かせやボランティアの方々が継続的に関わってくださっており、学校が地域にひらかれた場であることを実感しているそうです。

地域の協力が子どもたちに与える影響は？

「地域行事や地域の方の協力によって、子どもたちの“学びの場”が広がっていると感じます。学校の中だけでは得られない経験が、地域との関わりの中で育まれているんです。」

まちづくり協議会の皆さんとの関わりや、親児の会の活動など、子どもたちは人とのつながりを感じ、自信や意欲につながる授業にもつながっていると語ってくださいました。

子どもたちとのふれあいで嬉しかったことは？

「やっぱり、子どもたちとの“ふれあい”ですね。行事や活動の中で、笑顔や元気な声に触れるたびに、心が温かくなります。」

今後の PTA 活動で目指していることは？

「今ある地域とのつながりを、これからもずっと続けていきたいです。子どもたちのために、学校・家庭・地域が手を取り合っているような活動を目指しています。」

渡辺さんの言葉からは、「つながり」の力を信じる温かい想いが伝わってきました。これからも、子どもたちの笑顔のために、地域とともに歩む PTA 活動が続いていくことを願っています。

※今月のインクルーシブのコラムはお休みです。